

SON-DAY, JULY 29th, 2012 MORNING WORSHIP SERVICE

守 単立キリスト教会 マラナサ・グレイス・フェローシップ Maranatha Grace Fellowship [MGF] Since Jan. 18, 2004

牧仕：菊地 一徳(かずなり) 教会所在地：〒381-0084 長野市若槻東条 541-2 フカサワビル 2F 長野クリスチャンセンター内

www.mgf-jc.com mgfchurch@ybb.ne.jp 電話、郵便物は菊地宅まで 〒381-2247 長野市青木島 1-32-17 ☎/Fax:026-285-4713

礼拝黙想 Meditating on Worship

A【聖書とは？】

聖書とは、66巻の「書物」を集めたものである。聖書は一般的には宗教の教義などを記した聖典の一つに数えられる。ちなみに、仏教の経典「三蔵」はBC1世紀、イスラム教のコーランは、AD7世紀、神道の「古事記」「日本書紀」はAD8世紀に編纂された。儒教の「大学」、ヒンズー教のペーダの中の「知識の書」は共にBC5世紀のものだが、聖書のモーセ五書は(BC15世紀)に編纂された。聖書66巻はBC15世紀からAD1世紀にわたって記された(1600年間)。

聖書中には1189の章がある。旧約聖書は929章、新約聖書は260章である。旧約聖書は、キリストの時代以前に書かれたものである。そのほとんどがユダヤ人の言語であるヘブル語で記されている。旧約聖書は現在でも、ユダヤ教に人々にとっての聖書である。教会時代の初期においては、イエスの死と復活から数十年経つまで、ヘブル語聖書がクリスチャンにとって唯一の聖書であった。ヘブル語聖書が旧約聖書と呼ばれるようになったのは、後に新約聖書が成立してからである(2世紀以降)。旧約、新約の「約」は「契約」を表わす言葉である。ヘブル語聖書は、神がユダヤ人の族長であるアブラハムと結んだ契約のことが書かれている。新約聖書には、神がイエス・キリストを通して全人類と交わした契約について記されている。そのように、旧約聖書はキリストであるイエスの到来を予告している。このお方は私たちの罪を赦し、恵みとまことを土台とする神の御国を建設すると言われている。新約聖書にはイエスの物語と初期のクリスチャンたちによる文書が収められている。

聖書の各書は、40人以上の人々によって記録されている。記者の中には、

金持ちもいれば貧乏人もいる。王もいれば、詩人もいる。その他、預言者、音楽家、哲学者、農夫、教師、祭司、政治家、羊飼、取税人、職人、医者、漁師がいる。宮殿で書かれたものもあれば、牢獄で書かれたものもあり、ある書は大都市で、ある書は荒野で記された。激しい戦闘が繰り広げられる時期に書かれたものがあり、平和と繁栄の時代に記されたものがあった。聖書記者たちは、物語を書き、詩を書き、歴史や手紙や格言や預言を書いた。

聖書は1600年間にわたって記されたのにも関わらず、一貫したテーマを持ち、矛盾がない。統一と調和が取れている。既述の通り、66巻の各々のジャンルも様々である。歴史あり、律法あり、詩歌あり、預言あり。原著者は神であるが、40人以上の記者の職業も様々である。羊飼、職人、王、医者、祭司、漁師、預言者、宮廷の高官等。年代も異なれば、人種、言語、執筆場所も異なる(海外)。

これをわかりやすく言うと、今、東京でAさんがなんらかの本を書いたとする。テーマは彼が決める。そのAさんが死んで、数十年たってBさんが大阪で法律の本を書く。そのBさんも死んで、次にハワイに移住したCさんが詩集を出す。こうした具合に、千数百年後、ある人がそれらの本を発見し、一つの本にまとめる。当然のことだが、内容は支離滅裂で、テーマの一貫性などないはずだ。平安時代の物語、江戸時代の大衆文学、現代の推理小説、これらをついにまとめても滅茶苦茶な本となる。

仏教の経典と比較すると、非常に対照的である。仏教の各宗派は、宗派ごとに異なる経典を信奉する。例えば、日蓮宗は「法華経」、浄土真宗は「大無量寿経」、真言宗は「大日経」や「金剛頂経」など、阿含宗は「阿含経」など、みな

それぞれに経典が異なる。各経典の内容が非常に異なるため、宗派が生まれる。聖書は全時代、全世界、全人類に通用する唯一無二の書である。

〈聖書とはなにか〉

聖書とはなにか。聖なる書である。ではなにゆえに聖なる書であるか。またなにが聖なのか。そして聖とはなにか。

聖とは、けがれなきことである。では聖書はけがれなき人々の、清らかな行ないや教えをしるした書物であるのか。いな、聖書は—特に旧約聖書は—その巻のはじめより人間はだめだということを、あきもせず書きつづけている書物である。

すなわち、エデンの園において、アダムとエバは神にそむき、その子カインは弟アベルを殺す。義人ノアは洪水のあと酒に酔って裸になり、信仰の父アブラハムは殺されるのを恐れて妻サラを妹と偽る。モーセは怒って岩を打ち、アロンは黄金の子牛の偶像をつくり、大王ダビデは忠臣ウリヤの妻バテシバを奪う。ゆえに聖書はけがれなき人々の行ないすました行状や教えをしるした書物ではない。

ではなにが聖なのか。神こそ聖であると聖書はいう。人間はだめだが、天地をつくり、これを支配し、選民イスラエルを導きたもう神は聖であると語りつづける。ユダヤの詩人はその神の力と恵をうたい、ユダヤの預言者はその神に叫ぶ。

ところが、この詩人の歌声も、預言者の叫びも、人間の濃い罪の中に沈んで、旧約聖書は深い夜のとぼりのように、光を求めてそれをえられぬ詠嘆のひびきのうちに終る。聖なる神を、神としてあがめぬむなししい礼拝と空虚な祈りに

「教会【マラナサ・グレイス・フェローシップ(略称:MGF)】はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです(エペソ1:23)。「そしてあなたがた【MGF】は、キリストにあって、満ち満ちているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです(コロサイ2:10)。

対する嘆きに満ちて、旧約聖書はその顔を新約聖書にむける。

ゆえに、旧約聖書全体が、光を求め、救いを求めて新約聖書を指さしている。では新約聖書とはなにか、神の子キリストの物語である。そして新約聖書そのものはキリストのどこを指さしているのか。その終りの部分である。新約聖書もキリストの誕生については、マルコとヨハネの福音書に沈黙し、マタイとルカはくいちがっている。またキリストの幼少年時代についても大きな関心を示さない。しかし、伝道に立たれたのちの三年間のキリストの言行と、特にその十字架の死と復活については四つの福音書がことごとく筆をそろえて詳述する。

ではキリストの教えとその死と復活をしるした書物が、なぜ新しい契約の聖書であるのか。そのわけはこうである。旧約聖書においては、正しい人は栄え、罪人は滅びる(詩篇第一篇)べきものであった。しかしキリストの教えは、罪人—すなわち自分はだめだとくずおれている人—こそ神に近いということであった。宗教学者や祭司より、罪人とみられた取税人や遊女の方が先に天国に入るとキリストはいわれた。放蕩息子や、よきサマリア人のたとえ話のように、キリストは一貫して転落した人、自分で立ち上がる力もない人に神の方から手がさし伸べられていることを語られた。そしてついに、罪人が救われる保証として、罪なき神の子キリストご自身が、罪人の代わりに罪そのものとなって十字架の上で死なれたのである。

旧約聖書は正しい者は救われるという契約の書である。しかし新約聖書はだめな者が救われるという福音である。このキリストに感謝し、キリストを喜び、キリストを救い主と信ずる者は、キリストの復活にもあずかり、永遠の生命を与えられるという新しい契約の書である。そして聖なる神とキリストのお値うちを

しるすゆえに聖なる書である。

聖書とはなにか。一言にしていえばキリストご自身である。かくて聖書全体がキリストをほめうたう。人間はだめだ！というバスと、主を信ぜし者は幸いになり！というテナーと、キリストはよみがえりたまいぬ！というアルトと、栄光ただ神に！というソプラノの四重唱で。

(藤尾正人著『胸が熱くなるような』より)

「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのためには有益です。」(2テモテ3:16)。

「現代は、聖書ははたして神のことばなのかと問われる時代である。聖書は、初めから終わりまで神のことばであり、聖霊の靈感を受けて書かれている。聖書に聴くとき、私は真実のことばを読んでいることを実感する。私は毎日、聖書に聴くようにしている。」(ビリー・グラハム)

「聖書には、いかなる世俗の歴史に見られるよりも確実な、信憑性を証明する証拠が存在する。」(アイザック・ニュートン)

「聖書は単なる書物ではない。それに反対するすべてのものを征服する力をもつ生き物である。」(ナポレオン)

「私は聖書を、神が人間に下さった最高の贈り物と信じている。世界の救い主から来る全ての良いものは、聖書を通して私たちに伝えられる。」(エイブラハム・リンカーン)

「人間のための書物としての聖書の存在は、人類がかつて経験した中で最大の恩恵である。その価値を減らそうとの

いかなる企ても、人類に対する罪悪である。」(インマヌエル・カント)

「私は戦時中に敵を知ろうと、キリスト教を調べ聖書にぶつかった。初めは文明を誇る白人がなぜこんなものを信じるのかと笑ったが、聖書が歴史的事実と知ったとき、聖書から離れられなくなった。」(三笠宮崇仁親王 今上天皇の叔父)

「私が毎日、もつとも愛読する書物、それは聖書です。私の辞書に”悲惨”という文字はありません。聖書はダイナミックな力であり、変わることはない理想を示すものです。」(ヘレン・ケラー)

「光、暖かさ、健康、力はすでにもう存在しているのだから、スイッチを入れさえすればよいのだ。電線そのものは別に何でもない。絶縁された二、三本の銅線にすぎないのだ。しかし、その線の中をプラスとマイナス二つの電流が流れると、すべてが変わってくる。暗黒は失せ、冷氣はなくなり、仕事もたやすくできるようになる。聖書は単なる本にすぎないが、神の御霊によって靈感されている聖書の各ページを、神の義と愛とが、プラス・マイナス二つの電流のように流れ、キリストの十字架で合流している。聖書だけが、私たちに救い主を示してくれる。そのことによって聖書は、私たちの全生涯を造り変えることができる力の泉となるのだ。あなたは誘惑にあい、疑惑と敗北と弱さに満ちたご自分の生活に倦み疲れてはいないか。また、不安や心配にあきあきしてはいないか。スイッチを入れなさい。聖書を読みなさい。」(トーマス・エジソン)

「私が獄につながれ、ただ一冊の本を持ち込むことを許されるとしたら、私は聖書を選ぶ。」(ゲーテ) Ω

<お知らせ Announcement>

◆ BSはキャンセル 8/24(金)夜 ◇ 8月午前礼拝 8/26(日) 午前10:30~

「教会〔マラナサ・グレイス・フェローシップ(略称:MGF)〕はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです」(エペソ1:23)。「そしてあなたがた〔MGF〕は、キリストにあって、満ち満ちているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」(コロサイ2:10)。